

平成30年 1月27日(土)
森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会

すみだこども園



ひだまり探検隊



社会福祉法人 顕陽会
すみだこども園
西北 千絵子



和歌山県橋本市

霊峰高野山への参詣口として発展し、農業においては柿と鶏卵が盛んで、工業においては竹製のへら竿とパイル織物の生産量が日本一となっています。人口は、6万2310人の小さな市ですが、近年、大阪から引越しをしてくる方も増えてきています。



橋本市マスコット

はしぼう

社会福祉法人 顕陽会 すみだこども園

★橋本市隅田町上兵庫267番
園長 佐々木 和代

★園児 233名
★職員 46名





教育・保育目標

- ✿心身ともに豊かな子ども
- ✿たくましい身体づくり
- ✿思いやりのある子ども
- ✿意欲を持つ子ども
- ✿自分で考えて行動できる子ども



散歩 ♪ リズム ♪ 食育



裏山へお散歩に



2歳児
お散歩で あおむしに出会いました。
あおむしの動きをじっと見つめています。



5歳児 育てている野菜を絵にかきました。



4歳児 図鑑で草の名前を調べています。

秋には 青空の下で 焼芋をしました。



自然の中へいくと、子どもたちほんとに いい表情になり、どんどん遊びを見つけていきます。

森とともにだち～自然の中で共に育つ～



4歳児(年中)の子どもたちが、11月に 初めてひだまりの郷を訪れました。
ログハウスの周りは、緑がいっぱいで、それだけで目がキラキラ輝きます。
まずは、ひだまりクラブのスタッフの方々との 挨拶です。
みんな元気に「おはよう ございます!!」

**ひだまいクラブは、雨の日でも大丈夫！！
いつもと違う感じが子どもの心をワクワクさせます**



一步 森に入ると 不思議がいっぱい！！



「これ、ひげみたい！」 「ほんとや〜！」 「触ってみよう」
「この木は、おじいさんのの？」 「これは こけやで！」



子どもが発見！！ なんと、木に顔が…
雨の日だったから出会えたのかもしれない。

森へ出発です！



「どこ行くの？」「森の中には何があるの？」

ワクワクしている子、少し不安な子、それぞれの思いは違います。



表情も和らぎ、足取りも軽いです

シダの葉っぱで、シダ飛行機



**小杉さんのことを、子ども達は興味深く
見ています。**



シダという植物の名前を知り、手にとり、シダ飛行機に挑戦です！

小さなきのこを発見！！



「たべられるきのこかなあ～？」

……さっわったらあかで……先生にきいてくるわ！！

森の中には、危険な植物もあるってことを伝えます。

「これはなんの実かなあ……」とにかく目に入ったものひとつひとつが何なのか知りたくて仕方がない子どもたちです。



子どもたちの好奇心を大切にしたいです

フユイチゴを発見！！初めて食べました。



フユイチゴの葉っぱの形は、ハート型！！子どもたちの頭の中にインプット

森の中から上を見上げると、木がきれいな模様に見えるよ！



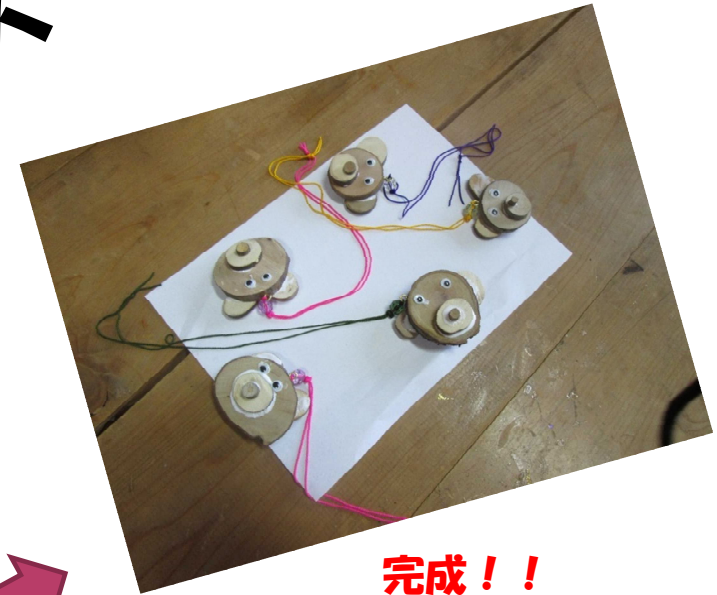
通称 魔女の池
子どもたちの気持ち次第で、水の色が赤く見え
たい、青く見えたい……
魔女が怒っていたら…赤
魔女が眠っていたら…青
想像が膨らみます

木工体験

くまさんペンダント



郷土の森の中で集めた木々を
スタッフの方々が切ってくださ
り、子どもたちがボンドでくっ
つけていきます。



完成！！

指先を使って、一つひとつ丁寧に組
み立てていきます。
真剣そのものです！！

作業は、グループに分かれて行います。
テーブルには、大人が1名ついて手助けをしています。



世界に一つだけのペンダント！！
木のぬくもりを感じることができるペンダントです。

今日も1日楽しかったね。(振り返り)



楽しかったことや、初めて発見したことなどをみんなの前で話をします。

子どもたちの心の中には、おいしい空気と新しい発見でいっぱいです。

初めは不安だった子も、帰る時には、「**楽しかった～！また来るね**」と ニコニコ笑顔になっています。

5歳児になって 再び 郷土の森を訪れます。



子ども達は、郷土の森がどんなところか経験済みなので、朝からワクワク・そわそわしています。

ひだまりスタッフの皆様とのあいさつです。元気に
「おはようございます」

子どもたちへのお約束と先生たちへのお約束があります。

山登りに挑戦です！！ロープを頼いに



やってみたい！！と思う気持ちが子どもたちに
力をくれます。



やっぱり 魔女の池は気になります！！



「よかった～魔女・・・ねむってる・・・」



**ツリーハウスに登りました。
「わたしの おうちはどこかぁ～？」**

きれいな花を発見！！



見て・触って匂いをかいで、友だちに知らせ大人に知らせ、
みんなで共感して ひとつひとつ身につけていきます。



下りは、リズムカルに早足に・・・

初めての /コギリ/体験！！



まずは、竹の話を聞きます。

郷土の森にあった竹を切ってきたこと、
そしてみんなのために、おっちゃんが
切ってきてくださったこと、竹でいろん
なものが作れることを教えてもらいま
す。

コップ・鉛筆立て・貯金箱・花瓶など
もうすでに、何を作るか決まっている
こどもたちです。ほとんど迷いませ
ん…直感です！！

そして、/コギリ/の切り方の見本を見せ
ていただきます。

グループに分かれて作業開始



自分たちで竹を選びます。色・太さ・長さを確認しながら・・・



みんなの 気持ちがひとつになっています。



仕上げ作業は、やすい磨き★



自分でつくった貯金箱
“いっぱいお金をためると！！”

**スタッフの方々が、自然の恵みを利用して
豚汁をつくってくださいます。**



**お家から、塩おにぎりをもってきて
豚汁と一緒にいただきます。**



薪を燃やして火をおこしています。子どもたちも興味深々です。

かなへびを発見！！



緑一面の芝生のじゅうたん。

転がいまわったり、追いかっこをしたり、木登りをしたり、なかなか日常生活では味わえない遊びを自分たちで見つけて繰り広げていきます。

誰かに教えてもらったのではなく、人間の本能でしょうか・・・自然界に身を寄せて感じることは、今も昔も変わらないような気がします。

そして、時には、命あるものに出会い、命の尊さについて心をかたむけます。

楽しかったね。(1日の振り返り)



四季折々の絵本や動植物の絵本を読みきかせていただきます。

そして、楽しかったことや頑張ったことを、心の中で整理をして言葉で発表します。

人に伝えることで、また新たな発見があります。

森が教えてくれたことを 心の栄養にして 子ども達はどんどん大きく成長します。

家庭ではなかなかできない体験を存分に楽しみ心の
栄養にしながらたくさんの人に感動体験を伝えていってほしいと思います。

